



串間 市制施行 70周年 記念誌

豊かな自然と共存し
みんなで創り育てる
多様性と持続性のまち
くしま

1954
2024

市制施行 70 周年記念



串間市歌再収録

市制施行 10 周年を記念して誕生した串間市歌を再収録しました。
歌唱するのは串間市出身でシンガーソングライターの井手綾香さん。
市歌は新たに編曲され、伸びがあり透き通るような井手さんの歌声で、全体的に柔らかくそして未来へ羽ばたけるイメージを持てるような曲となりました。
再収録した市歌は串間市公式サイトで音源を公開しているほか、市役所で CD の貸し出しも行っています。



70周年記念ロゴマーク制作

市制施行 70 周年を記念して、記念ロゴマークの作品を募集したところ、市内外から 150 点の応募がありました。応募作品を市制施行 70 周年記念事業実行委員会で審査を行い、上記ロゴマークに決定しました。
・制作者 あまのほづみ 天野穂積さま（静岡県在住）
・作品説明
串間の漢字、70 周年の 70 をメインモチーフとし、都井岬灯台や岬馬、風力発電などと組み合わせ、串間らしさを強調するとともに、豊かな自然に恵まれ、多様性、持続性、未来に向け飛躍する魅力満載の串間市を表現しています。

Kushima city 70th Anniversary

Contents



ごあいさつ	3
串間市民憲章、串間のシンボル	4
串間の恵み、串間の市民祭り	5
市政功労者表彰被表彰一覧、くしまPR大使一覧	6
串間市制施行 60 周年からのあゆみ	8
「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる 多様性と持続性のまち くしま」の実現へ	10
串間市歌	12

ご あ い さ つ

串間市は昭和 29 年 11 月 3 日、福島町、大東村、本城村、都井村および市木村の 1 町 4 村が合併して市制を施行して以来、今年で 70 周年という記念すべき年を迎えました。

この節目を市民の皆さまと迎えられたことに大きな喜びを感じるとともに、心より感謝を申し上げます。

これまで先人たちが築きあげられてきた多くの成果や取り組みを持続、発展させ、串間市がさらにあゆみを進めるため、これまでの歴史を振り返り、受け継がれた自然、伝統、

文化を次世代にしっかりとつなぎ、「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる多様性と持続性のまち くしま」の実現に向けて取り組んでまいります。

本市の核となる「道の駅くしま」をはじめ、開放感抜群の都井岬沖の大パノラマと共に食事が楽しめ、休憩ができる「都井岬観光交流館 PAKALAPAKA (パカラパカ)」、その他、美人湯として知られている「串間温泉いこいの里」、志布志湾に沈む幻想的な夕日を見ながらキャンプが楽しめる「高松キャンプ公園」など、本市には、観光資源を生かした魅力ある観光施設が整っております。串間の未来を担っていく子ども達のためにも、東九州自動車道の全線開通を見据え、各施設間での連携を図るとともに、豊かな資源を最大限活用し、交流人口の増加、関係人口の創出、串間市のさらなる活性化につなげてまいります。

人口減少などさまざまな課題に対しても、移住・定住・子育て支援をはじめ、各産業における働き手・担い手の育成・確保対策、地場産業の振興などについて、将来を見据えた未来志向の施策を今後さらに推進していく必要があると感じております。

また、南海トラフ巨大地震や近年多発している豪雨災害などの大規模災害から市民の生命・財産を守る「事前防災まちづくりの推進」、串間市ゼロカーボンシティ宣言に基づく、再生エネルギーの普及・導入をはじめとした温室効果ガスの抑制を目指す「ゼロカーボン社会の推進」、串間市の豊かな自然を生かし、健康に長生きできる「市民が 100 年健康でいきいき暮らせるまちの推進」、地元で安心して暮らすことができる「持続可能な地域医療提供体制の確保」など、市民一丸となって取り組み、豊かな自然と共存し、持続可能なまち「くしま」の実現を目指してまいります。

本市のさらなる発展のため、今後ともお力添えいただければ幸いに存じます。

結びに、市民の皆さまの今後益々のご健勝・ご多幸を祈念いたしましてあいさついたします。



串間市長

島 田 俊 光

串間市民憲章

太陽と緑、澄みきった空と海、この恵まれた自然と、祖先が残してくれた歴史、伝統を正しく受けついで、より文化的でたのしく豊かに住める近代的田園都市を創造し、愛する郷土の未来に大きな願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

- 1、わたくしたちは、豊かな自然を大切にし、これをいかしましょう。
- 1、わたくしたちは、お互いを信じ、心をあわせ平和で明るいまちをつくりましょう。
- 1、わたくしたちは、健康で働くことに誇りをもち豊かな住みよいまちをつくりましょう。
- 1、わたくしたちは、だれにも親切にし老人をいたわり、こどもに夢と、しあわせをあたえましょう。
- 1、わたくしたちは、教養を高め、文化のまちをつくりましょう。

(昭和49年10月24日制定)

串間のシンボル



市章

「く」の字を4字組み合わせせて「串」と読ませ、中央の空白部は分銅「お宝」をかたどり、串間市の隆昌繁栄を意味し、翼はさらに飛躍発展を表したものです。

(昭和30年7月13日制定)



市の花 カンナ (カンナ科)

熱帯原産の多年草、改良種が明治末期に渡来し、広く観賞用に栽培されています。夏から秋の間に、黄、紅、橙色などさまざまな色の直径10センチほどの花を次々に咲かせます。花後、黒色の堅い種子数個が生じます。(昭和49年9月20日制定)



市の木 ソテツ (ソテツ科)

ソテツは雌雄異株。葉は常緑で南九州、南西諸島に分布。都井岬のソテツ自生地は北限の密生地として珍しく、大正10年に天然記念物、昭和27年には特別天然記念物に指定されています。

(昭和49年9月20日制定)



市の花木 ヤマザクラ (バラ科)

バラ科の落葉高木。変異が多く、新芽の色も多種。本州の関東以西、南日本に分布します。4月頃に赤褐色の新葉と同様に、短柄の散房花序を出し、淡紅色の花を開きます。串間地方の海岸沿いでは3月上旬に満開となります。(昭和49年9月20日制定)



市の鳥 メジロ (メジロ科)

スズメより小さい黄緑色の鳥。目の周囲には顕著な白色輪があり、鳴き声が珍重され、籠鳥としても飼われます。留鳥ですが、冬季は一部温暖な地方へ移動し、串間地方には特に多い。花の蜜を吸う姿が愛らしい鳥です。(昭和49年9月20日制定)

串間の恵み



宮崎牛



ブリ



アサヒガニ



甘藷 (かんしょ)



キンカン

串間の豊かな風土と、
温かな人たちの手により育まれた
たくさんの恵み



マンゴー



キュウリ



ピーマン



ゴボウ



オクラ

串間の市民祭り

長年市民に親しまれている三大イベント

福島港花火大会

花火の打ち上げ場所が観覧場所から比較的近く、夜空に咲き誇る迫力満点の花火を見ることができます。

串間市民秋まつり

串間市制施行日の11月3日に開催。市民パレードでは、児童や市民団体などが中心市街地を練り歩き、串間の未来を願います。その他、地場産品などが販売される産業祭やステージイベントなど、さまざまな催し物があります。

都井岬火まつり

はるか昔に人々を苦しめていた大蛇を、衛徳坊というお坊さんが火攻めで退治したという伝説を再現した火まつり。高さ約30メートルの柱松の頂上めがけて松明を投げ入れ、命中すると夜空に激しく炎が舞い、その様は圧巻です。



福島港花火大会



串間市民秋まつり



都井岬火まつり

市政功勞者表彰被表彰者

【個人・団体ごと五十音順、敬称略】

自治功勞（46名）			
泉 正人	一井 俊広	井手 博文	今江 猛
岩下 幸良	大下 正男	門川 重信	門川 浩史
川崎 竜雅	川崎 千穂	川崎 政喜	河野 昭光
河野ケイ子	河野日出男	菊永 宏親	串間 俊也
黒木 俊男	小城 和男	兒玉 征威	税田 義己
坂中 喜博	迫田幸四郎	佐藤 強一	清水 英貴
清水 秀人	白石 方子	新留 寛樹	瀬尾 俊郎
田上 俊光	武田富美子	田中 良嗣	谷口 則美
時任 忠弘	内藤 圭亮	中澤 征史	中村 利春
野辺 修光	日高 廣志	日高 博	古田 和彦
堀 透	森 克秀	矢越 修	山口 敏雄
吉永 一美	吉本 之俊		

産業経済功勞（29名）			
相澤 義和	井手 重則	稲本 民雄	内田 謙吾
江藤 隆一	大田 幸宏	奥村千扶子	鬼塚 貴昭
甲斐 正和	門田 國光	川崎 善昭	河野 至
河野 秀親	五島 一洋	瀬治山 悟	武田 盛光
田里 徳矢	谷口 修	谷口 利則	野辺 和哉
野邊 英春	古屋 修市	堀口 勝郎	牧野 親夫
水谷 和義	柳 博貴	山崎 一博	吉田 大城
和田 秀樹			

社会福祉功勞（12名）			
井上 藤雄	岩満 泰子	小田原ハナエ	金子 良一
清水るみ子	仁田 盛人	前迫加津枝	丸山 隆照
森本 明子	山崎美佐子	吉岡 茂	渡邊 英人

教育文化功労（7名）			
井藤 健	岩本 直典	木代 俊道	土肥 昭彦
深江 弘	八代 律子	山下 博巳	

篤行者（5名5団体）			
魚本 良二	木村 頼雄	長野 秀明	廣見 洋一
森 恵二			
石波青年部		串間ウインドヒル株式会社	
QCMA株式会社		くしま木質バイオマス株式会社	
有限会社スーパーほりぐち			

くしまPR大使

【委嘱日順、敬称略】

くしまPR大使（9名）			
木島 博	井手 綾香	津曲 孝	川崎 俊郎
西村 徳文	坂口 佳穂	村田 博文	大迫 友行
加治屋 蓮			



串間市制施行 60 周年からのあゆみ

2014 (平成26) 年

市制施行 60 周年 ～主な記念事業～



第9回全国山菜サミット in 串間 (5月)



ちびっこ大運動会 (10月)



記念式典 (11月)

2016 (平成28) 年

3 月

6 月

笠祇小学校休校

ゴマファザラシ「すわちゃん」が都井地区諏訪浜で発見される



笠祇小最後の在校生たち



ゴマファザラシのすわちゃん

2017 (平成29) 年

2 月

4 月

9 月

串間エコツーリズム推進全体構想が九州内で初めて国の認定を受ける

市内の 6 中学校が統合し串間中学校開校

第 11 回全国和牛能力共進会宮城大会で日本一



認定メニューの都井岬野生馬ガイド



串間中入学式



第 5・7 区で日本一の優等賞首席を獲得

2019
(平成31・令和元) 年

3 月

9 ~ 11 月

東九州自動車道「油津～南郷」「奈留～夏井」区間事業化決定

国重要文化財指定の旧吉松家住宅建築 100 周年記念イベント



市役所で行われたセレモニー



旧吉松家住宅

串間市制施行 60 周年からのあゆみ

2020 (令和2) 年
3 月
4 月
12 月

旧吉松家住宅前市民広場が供用開始
都井岬観光交流館 PAKALAPAKA (パカラパカ) オープン
宮崎県内で初の「串間市ゼロカーボンシティ宣言」を表明



市民広場



都井岬観光交流館パカラパカ

2021 (令和3) 年
4 月
10 月

高松キャンプ公園オープン
国道 448 号藤磯平トンネル開通



高松キャンプ公園



藤磯平トンネル開通式

2022 (令和4) 年
4 月
11 月

道の駅くしまグランドオープン
福島小学校創立150周年記念式典
パリ協定の目標達成貢献を世界に誓う「世界気候エネルギー首長誓約」に県内の自治体で初めて署名



道の駅くしま

2023 (令和5) 年
3 月
11 月

大平小学校休校
串間駅リニューアル
福島高等学校創立100周年記念式典



大平小休校式



串間駅

2024 (令和6) 年
4 月
10 月
11 月

東九州自動車道
「南郷-奈留」区間事業化決定
大東小学校創立150周年記念式典
市制施行 70 周年



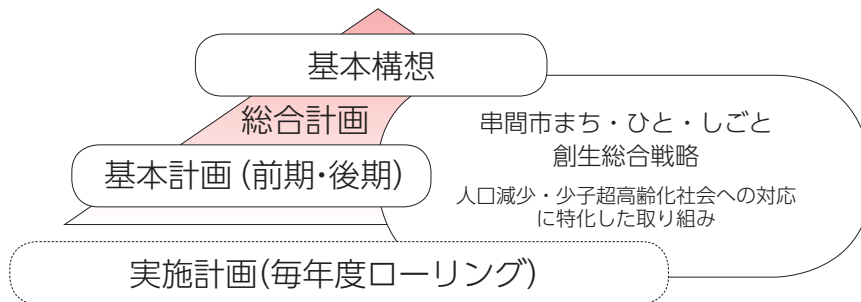
道の駅くしまで行われたセミナー

「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる 多様性と持続性のまち くしま」の実現へ

令和3年3月に、串間市の今後10年間のまちづくりの方向性を示す指針である「第六次串間市長期総合計画」を策定しました。

この計画は、「活力ある地域社会」の実現に向けて、人口減少対策と地域活性化に取り組むために策定した「第2期串間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重点戦略としており、長期的視点からの将来像およびそれを達成するために必要な施策の大綱を明らかにする「基本構想」、その構想に掲げる将来像を実現するために今後取り組むべき主な施策などを示した「基本計画」で構成されています。

【長期総合計画と総合戦略の関係図】



計画の期間

計画期間	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度
基本構想	基本構想(10か年)									
基本計画/ 総合戦略	前期基本計画(5か年)					後期基本計画(5か年)				

【基本目標と戦略目標】

第2期串間市まち・ひと・しごと創生 総合戦略の戦略目標 (長期総合計画の重点戦略)

第六次串間市長期総合計画 基本目標

- 基本目標 1**
多様なひと 考え方が尊重され
想いをかたちにする くしま
- 基本目標 2**
ともに寄り添い 支え合い
自分らしく活躍する くしま
- 基本目標 3**
まなび 育み 夢叶え
未来へ飛びたつ くしま
- 基本目標 4**
つくり そだてる
交流と魅力あふれるまち くしま
- 基本目標 5**
みんながつながり 安心と安全
スマートなまち くしま
- 基本目標 6**
豊かな自然の恵みと共存し
持続するまち くしま

戦略目標 1
安定した雇用を創出する

戦略目標 2
子育て世代に選ばれる環境づくり

戦略目標 3
新しい人の流れをつくる

戦略目標 4
住み続けたい魅力あるまちをつくる

横断的な戦略目標 1
多様な人材の活躍を推進する

横断的な戦略目標 2
新しい時代の流れを力にする

基本理念

豊かな自然と共存し
みんなで創り育てる
多様性と持続性のまちくしま

基本理念の柱1

市民がともに
考え 選び 創る
協働と共生のまち
の創造

基本理念の柱2

人を呼び 魅了し
自慢したくなるまち
の創造

基本理念の柱3

豊かな自然と
共存し 持続する
環境未来都市
の創造

重点戦略

戦略目標（一部抜粋）

（1）安定した雇用を創出する

本市の特色・強みを生かした産業の振興や企業の競争力強化を図り、効果的に域外から稼ぎ、効率的に域内で富を循環させる地域経済構造を構築するため、農林水産業、観光産業などの強みを有する産業を見定め、産業構造の多角化により、多様な働き場の確保を図って、人が本市に職場を求める仕組みづくりに取り組んでいきます。

（2）子育て世代に選ばれる環境づくり

結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立に係る国制度などの活用を促進することに加え、市をはじめ各種団体などにおいて、保育・教育の質の向上、結婚の希望をかなえる取り組み、子育てのサポート体制、男女の働き方などの実情に応じた少子化対策の取り組みを推進します。

（3）新しい人の流れをつくる

本市の転出超過数の大半は若年層であり、多くの若者が進学、就職の機会に転出しているものと考えられます。本市へのひとの流れをつくるため、夢や希望を抱く若者などに選ばれる取り組みを実施し、本市に住みたいという希望の実現に取り組めます。

（4）住み続けたい魅力あるまちをつくる

質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図り、あわせて、豊かな自然、観光資源、文化、スポーツなど地域の特色ある資源を最大限に生かし、地域の活性化と魅力向上を図ります。

横断的な戦略目標（一部抜粋）

（1）多様な人材の活躍を推進する

多様化、複雑化する地域の課題の解決に向けて、市だけでなく、地域外の企業、NPO、住民など、地域に関わる一人一人が地域の担い手としてそれぞれの目的に応じて、自ら積極的に参画できるよう、多様な人々が活躍できる地域社会づくりを積極的に進めます。

（2）新しい時代の流れを力にする

地域における Society 5.0 の推進に向けて、地域における情報通信基盤などの環境整備を進めた上で、未来技術の活用による地域課題の解決、地域の魅力向上を図ります。また、持続可能なまちづくりや地域活性化を推進するに当たっては、SDGs を原動力とした地方創生を推進します。



串間市制施行 70周年記念誌

発行者

宮崎県串間市

〒 888-8555

宮崎県串間市大字西方 5550 番地

TEL 0987-72-1111 (代表)

FAX 0987-72-6727

発行月

令和 6 年 11 月

串 間 市 歌

作詞：井 上 美都夫

作曲：松 本 寛 郎

- 1 南のくにの 空晴れて
光りあふれる 日向なだ
串間は明るく 伸びるまち
あなたののぞみも わたしの夢も
ここに咲かそう 美しく
- 2 はたらく歌が こだまして
呼ぶは地の幸 海の幸
串間はしあわせ 拓くまち
あなたのちからを わたしの汗を
ここに注ごう 惜しみなく
- 3 野生の駒は いなないて
蘇鉄かがやく 都井岬
串間はながめを 誇るまち
あなたのゆくても わたしの明日も
ここに根ざそう ゆるぎなく

(昭和 39 年 7 月 20 日制定)

